

令和元年度 麻華こども園 施設の自己評価

年度末に行った保護者アンケートや職員アンケートをもとに施設の評価を行いました。

今年度は、幼保連携型認定こども園へ移行したり、幼児の保育料が無償化になったり、年中・年長が異年齢保育を始めたりといろいろと変化が多い年度でした。

令和2年度もこれまでの保育を基盤にして、子どもにとってよりよい教育・保育を目指し取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、保護者の皆様や職員から寄せられた感想や意見を十分に受け入れて来年度に生かしていきたいと思っています。

《保育内容について》

今年度から、年中・年長の異年齢保育をスタートしました。

クラス編成や教室環境、活動のグループ構成や行事の在り方等々、いろいろと変わることが多い一年で、保護者の皆様にとっても見通しが持ちづらく不安な思いをさせることもありました。その日の様子を写真を介してお知らせしたり、毎月のおたよりでエピソードを記入したりして、保護者の方へは子どもの成長を具体的な姿でお知らせしてご理解を得ることができたことに感謝しています。

核家族化が進み、年齢が異なる子どもと接する機会が少ない中、また0歳から6年間という長い時間を園で過ごすことを考えて、子ども同士のかかわりを意識した保育を進めていきたいと思っています。

《保育士の対応について》

お便りや登降園時にその日のこどもの様子をお知らせしてきましたが、保護者の方一人ひとりの期待には応えてられず大変残念に思っています。

職員一人ひとりが自己目標を立てたり職員間で連携を密にしたりして、保護者の方に寄り添う保育を目指していきたいともいます。

以上のことを職員で共通理解し次年度に生かし、質の高い教育・保育を目指していきたい。

社会福祉法人柳原福祉会 麻華こども園園長 中原美華